

(お知らせ)

※ 数値等は全て速報値のため、
今後変更される可能性があります。

北海道における新型コロナウイルスに係る災害派遣について

令和2年12月21日
防 衛 省

概
要

- 11月以降、北海道旭川市内においては、新型コロナウイルスに係る国内でも最大規模のクラスターが発生し医療態勢がひっ迫。北海道は、全国知事会等に看護師の派遣を依頼するなどをしているが、全国的に感染が拡大傾向にあるため、看護師の早急な確保が困難な状況。
 - 12月8日(火) 1700、北海道知事から陸上自衛隊北部方面総監(札幌駐屯地)に対し、**旭川市内の集団感染が発生した病院における医療支援に係る災害派遣を要請。**
 - 本日12月21日(月) 1900、北海道知事から陸上自衛隊北部方面総監(札幌駐屯地)に対し、**医療支援に係る災害派遣の撤収を要請。**
- ※ 北海道知事より、「旭川市内の集団感染の発生という深刻な状況の中で、**献身的なご尽力をいただきました北部方面隊の皆様**に心より感謝申し上げます。」との御礼の御言葉あり。

活動内容

- 8日(火)、陸上自衛隊北部方面隊の**医療支援チーム(看護官1名、準看護師4名)×2チーム(合計10名)**の派遣を決定。その後、速やかに旭川市内の2カ所の病院(療育園、社団慶友会吉田病院)において現地確認を実施。
- 9日(水)午前より、医療支援(医師の診療(**レッドゾーンを含む**))の補助、血圧測定、入院患者の看護等)を開始【活動期間：8日以降、2週間以内】
- 活動にあたっては、これまでの活動実績を踏まえた感染防護策を徹底。

位置関係図



活動写真



院内での活動